

2021年 百里初午祭 アピール

百里基地ではF 4 ファントム飛行隊が廃止に伴い、静かな時期を迎えていますが、今後はF 3 5 戦闘機が配備される計画があり、訓練が実施されれば、これまで以上の騒音被害が懸念されます。

百里基地内部では情報漏洩の取り締まりが厳しくなっており、機密保持を強化し、「軍隊としての自衛隊」に変貌しているようです。自衛隊の役割が、日米安保条約で規定されているように米軍一体の戦力として、米軍とともに戦地に派遣することを許してはなりません。憲法に9条を掲げる国として絶対に戦争協力は認められません。

「安倍政権を継続する」として発足した菅政権は、憲法破壊・「海外で戦争する国づくり」、「防衛予算」増額など「歯止めのない軍拡」を推し進めようとしています。

学術会議の会員任命では法律を無視して、安保法制（戦争法）を含む戦争関連法案に反対した6名の学者に対して「任命拒否」を行いました。許せるものではありません。

沖縄では県民が選挙ごとに「辺野古移設NO!」「普天間基地の無条件撤去」の意志を示していますが、菅政権は軟弱地盤の存在すら無視して辺野古新基地建設を強行しています。また東京の横田基地にオスプレイの配備を強行し、千葉県の上野原駐屯地にも暫定配備を強行しています。訓練強化によって茨城県北地域を中心に茨城の空をオスプレイが飛んでいるという目撃情報も増えています。

1月22日、世界の50ヶ国を超える批准を得て核兵器を違法な兵器とする「核兵器禁止条約」が発効しました。また日本国憲法と平和を守ることを求める多くの市民は、市民と野党の共同を発展させ、「戦争する国づくりを許さない」取り組みとして、全国各地で進められています。

百里初午まつりに集まった私たちは、平和を願う多くの市民と連帯して、「戦争する国づくり」を強行する菅政権を追い詰める取り組みをさらに強化します。

菅政権による「改憲」に反対し、戦争を準備する百里基地の撤去をめざし、草の根の取り組みを地域から全県に運動を広げ進めます。

以上アピールします。

2021年2月11日

百里初午まつり 参加者一同